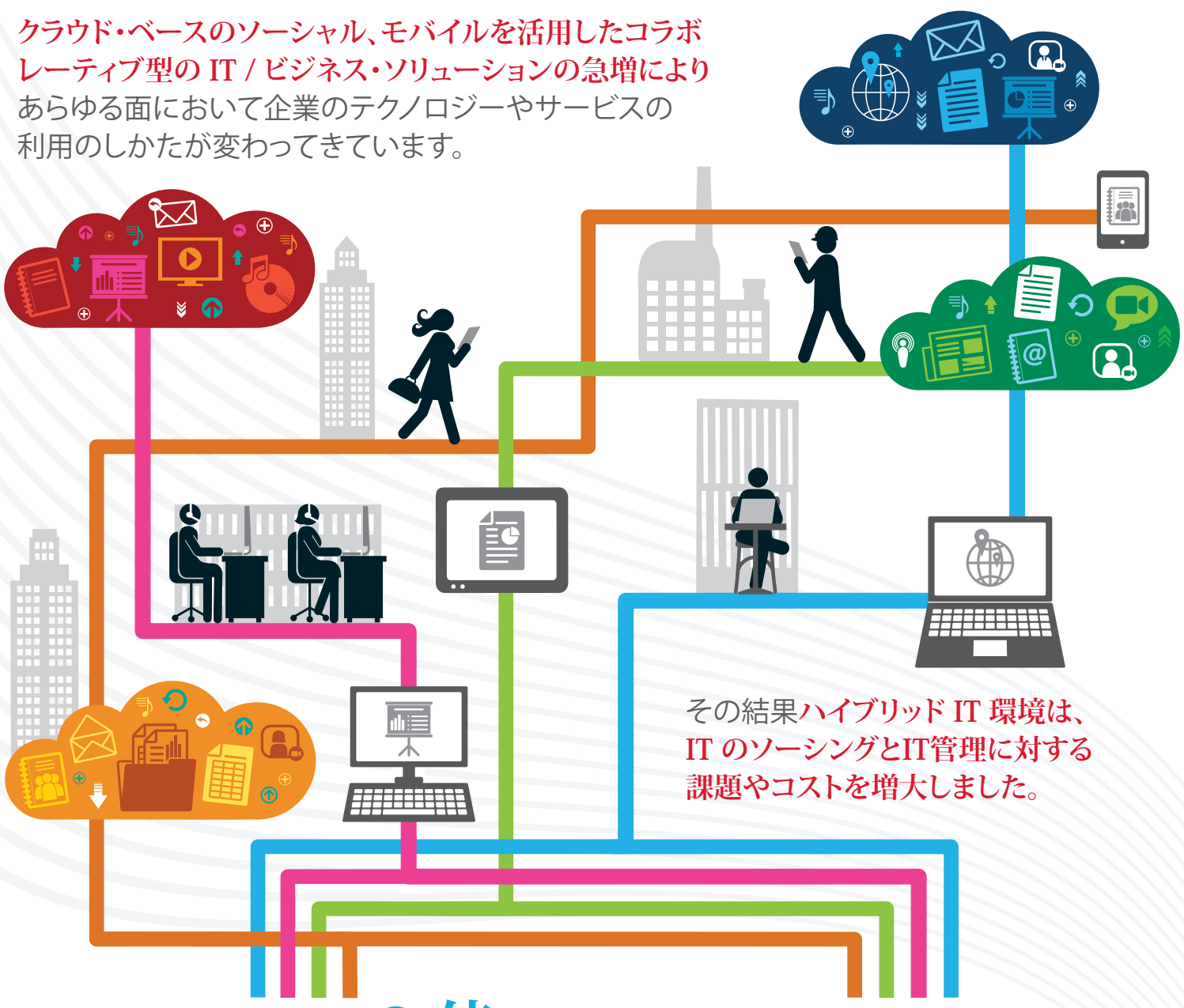
ハイブリッド IT 環境を
最大限に活用していますか

クラウド・ベースのソーシャル、モバイルを活用したコラボレーティブ型の IT / ビジネス・ソリューションの急増により
あらゆる面において企業のテクノロジーやサービスの利用のしかたが変わってきています。



その結果**ハイブリッド IT 環境は、IT のソーシングとIT管理に対する課題やコストを増大しました。**

調達コストだけで 2 倍

統合されていない複雑で冗長なソリューションや、現在の業務やポリシーとの不一致などが、コスト増の原因です。

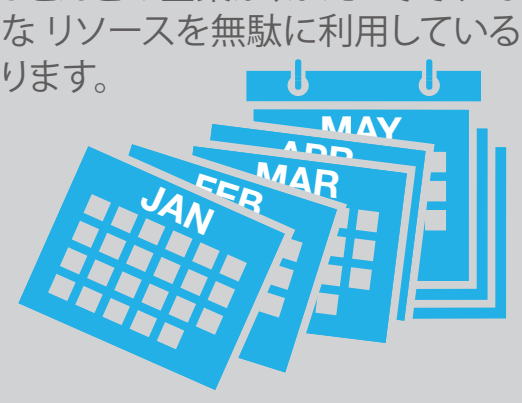
ビジネス・チャンスやイノベーションの機会逸失

クラウド・ソリューションやハイブリッド環境の俊敏性がもたらすメリットを十分に活用できていないためです。

アウトソーシングによるメリットを最大限に活用するためのパートナー活用戦略

70% が D-I-Y

多くの企業が、まずは自社でアウトソーシング管理に対応しようとします。しかし、しばらくするとほとんどの企業が、かえってそれは自社の貴重な リソースを無駄に利用していることがわかります。



アウトソーシングと統合を、自社で行うやり方から経験豊富なアウトソーシング・ベンダーに委託し、IT リソースを開放すれば、IT 部門は**新たなビジネス方法で変革を行うことができるようになり、年間数十億円(*)ものコスト削減を実現している企業もあります。**

(*) 1 ドル100 円換算。企業の一例であり、すべてのお客様にあてはまるわけではありません。

- 迅速な**ソリューションの統合**
- シンプルな**ベンダーの調整**と選択
- コスト効率のよい**ハイブリッド環境の最適化**
- **よりすぐれたビジネス成果**をめざしたコラボレーティブ型のイノベーション

信頼できる適切なアウトソーシング・ベンダーの選定

サービス・ベンダーは、**ハイブリッド環境のあらゆる面で効果的にアウトソーシングを行う必要があります。**

- **企業の IT とビジネスのビジョン:** その企業の潜在的価値とソリューションについてのビジョンを提供
- **拡張性に優れた実績のあるサービスの統合・管理:** クラウドと従来型のシステムとプロセスを統合/管理
- **実行能力:** 豊富な経験にもとづいた、企業規模に応じたビジョンを実現
- **実績:** あらゆるお客様での実績により、お客様の状況に応じて対応
- **柔軟なアウトソーシング:** 容易に適用可能な幅広い選択肢と機能
- **クラウド管理の専門知識:** 専門知識を活用し、起こりうる問題を最小化

アウトソーシングによるビジネス成果の向上をめざして
～いますぐはじめましょう～

新たに起こった複雑な課題を特定し準備する
予期せぬ事態を避けるために資産とリスク状況の監査を毎年実施します

アウトソーシングをきちんと管理する
信頼できるベンダーとともに、ポリシーの脆弱性を見極め、対応します

現実にそって評価する
ハイブリッド環境が複雑になるにつれ、IT とビジネスのアウトソーシング管理はますます困難になります

適格なソーシング・ベンダーと契約する
上記の項目について、ベンダーを評価します

対策をしないことによって払う高い代償

リスクが増加し、IT のソーシングと IT 管理に対する課題やコストが増大しました。

詳しくは

ここで紹介している洞察は、米国の Saugatuck Technology 社が実施した調査に基づくもので、「Optimized Sourcing in Hybrid Environments (SSW03014)」にまとめられています。経験豊富なアウトソーシング・ベンダーの利用により、ハイブリッドIT環境に関する課題をどのように解決できるかをご紹介しています。この調査レポートは、次の IBM のアウトソーシングサイト からダウンロード可能です:
http://www.ibm.com/services/jp/ja/it-services/it-outsourcing/index.html

アウトソーシングに関する意思決定者 1,300 名以上を対象にした IBM の調査。アウトソーシングで得られるビジネス上のメリットについてさらに詳しくご紹介しています。アウトソーシングがいかにお客様のイノベーションを促進し、大幅な業績向上をお手伝いするかについて、白書「パートナー活用戦略の重要性: ビジネスおよび IT サービスのソーシングによる業績への影響 (CIE03118)」をご覧ください。この調査レポートは、次の IBM のアウトソーシングサイト からダウンロード可能です:
http://www.ibm.com/services/jp/ja/it-services/it-outsourcing/index.html

© 2014 IBM Corporation
RLJ12351-JPJA-00

IBM